

平成 27 年 8 月 11 日

情 報 提 供

～朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」上演～

8 月 15 日（土）、豊島公会堂（東池袋 1-19-1）において、朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」を上演しますので情報提供いたします。

この朗読劇は、1985 年の初演以来、全国で 786 回の公演を行なってきた作品です。戦後 70 年の節目の年の今年、豊島公会堂がフィナーレの会場となります。

かとうかず子さん、島田歌穂さん、根岸季衣さん、原日出子さんなど 6 名の著名な女優さんといっしょに、千登世橋中学校の 5 名の生徒が舞台に立って、平和への祈りを語り継いでいく作品となっています。

また、長い歴史を持つ豊島公会堂も、今年度限りとなりました。この機会に、ぜひ多くの方にご来場いただきたいと思います。

日時：平成 27 年 8 月 15 日（土） 午後 1 時開演（12 時 30 分開場）
会場：豊島公会堂（東池袋 1-19-1）

詳細については別紙をご覧ください。

※当日の取材も可能です。取材いただける場合はお手数ですが、事前に下記担当までご連絡ください。

<問い合わせ>

としま未来文化財団
豊島区総務課

朗読劇

戦後70年豊島区平和事業／財団設立30周年記念事業

この子たちの夏

1945・ヒロシマ ナガサキ



写真の下駄は広島平和記念資料館所蔵、市立第一高等女学校1年生、美代子さんの遺品。
動員学徒として建物疎開作業中、爆心地から550mの地点で被爆。
遺体は行方不明のまま二ヶ月後に母親が発見。母の着物で作った鼻緒であったため、
美代子さんの物と分かった。寄贈者は母、井上富子さん。(撮影：土田ヒロミ)

出演(五十音順)

旺なつき

かとうかず子

島田歌穂

高橋紀恵

根岸季衣

原日出子

構成・演出＝木村光一

装 置＝石井強司

照 明＝古宮俊昭

効 果＝深川定次

舞台監督＝井川 学

死期がせまり、わたしも思わず、お母ちゃんもいっしょに行くからね、と申しましたら、
あとからでいいよ、と申しました。……お母ちゃんにあえたからいいよ、とも申しました。

2015年8月15日[土] 13:00開演 (12:30開場) 豊島公会堂

■チケット発売日＝友の会6月12日[金]／一般6月19日[金]

■チケット料金[消費税込・全席指定] ※未就学児入場不可

友の会＝2,500円／一般＝3,000円(1階席・2階席同一料金)

高校生以下＝1,500円(としまみらいチケットセンターのみの取り扱い・要証明)

■主催＝公益財団法人としま未来文化財団・豊島区

■企画制作＝地人会新社



TOSHIMA
International City
of Arts & Culture
国際アート・カルチャー都市としま



さよなら豊島公会堂

SPECIAL
THANKS

■申し込み・お問い合わせ

●としまみらいチケットセンター

TEL.03-3590-5321 (8:30～21:30 ※偶数月第3月曜日は17:00まで)

※ホームページからお申し込みできます。 <http://www.toshima-mirai.jp/>

●チケットぴあ＝TEL.0570-02-9999 (Pコード 444-771)

この子たちの夏

1945・ヒロシマ ナガサキ

構成演出＝木村光一
装 置＝石井強司
照 明＝古宮俊昭
効 果＝深川定次
舞台監督＝井川 学

短歌・俳句の朗読＝高安智実

旺なつき



かとうかず子



島田歌穂



高橋紀恵



根岸季衣



原日出子



唯一の原子爆弾での被爆国である日本。日本人としての経験を記録でなく記憶に留めたいと、構成・演出の木村光一が遺稿や手記、詩歌など膨大な資料の中から、テーマを「母と子」に絞り朗読劇としてまとめたのが本作品です。

1985年の初演以来、全国47都道府県、396市町村で786回の公演を行ってきました。

2011年、長年制作の母体であった「演劇制作体 地人会」から引き継ぎ、実行委員会形式で新たに生命を吹き返すことが出来たことは、あの原爆で命を落とした彼らの死の上にある。今、「生きる私たちにとって、大切なことであつたと思えます。」

死を直前にし、残した子供たちの言葉。大豆ご飯を食べなかつた息子を叱つたまま補習授業の学校へ送り出した母の後悔。自分の目の前、校庭で親兄弟を茶毘にふすという想像も出来ない体験をせざるを得なかつた少年の思い……。

寄せられた感想より

■ヒロシマ・ナガサキにバクダンがおとされて、わたしとおなじくらしいの子と男の子がなくなりました。せんそうは、もうしたくありません。
(女性・7歳)

■出演者の方々の生の声を通して、本やテレビなどでは気づくことのなかつた被爆者の気持ちや思いに気づかされた。
(男性・13歳)

■生まれる前の出来事、経験のない出来事。でも決して他人事でもなく忘れてはいけない今にも続く出来事だと強く強く思いました。昔の問題じゃない今の問題だと考えさせられました。(女性・19歳)

■この二時間半で、どれだけ人が死ぬことが言われたらどうか。人がとけるって何？皮膚つてはがれんの？できればもう聞きたくないけど、聞かなくちゃいけない気がする。
(男性・19歳)

■戦争について教科書だけの知識しかなかったけれど今回想見してその当時の思い、親が子供に対して思う愛情、子供が親を呼ぶ気持ち、痛いほど伝わってきました。それと同時に何も知らない自分自身が恥ずかしくも感じました。
(女性・21歳)

■観るたびに色々な感情が湧いて来ます。年一回大切なことを忘れないように観ています。改憲等、簡単に賛同している方、原発に簡単に賛同している方、ぜひ見て欲しいです。
(女性・44歳)

■6人の女優は、この子たちの6人の母親でした。演ずる世代が違うとこんなにも印象が変わるものかと、前の舞台を見ていたので、そう思いました。祈りから希望へ、両方の舞台を見て、感じました。悲惨さだけでなく、生き抜いていく悲しい明るさも伝わってきました。
(女性・52歳)

■戦後68年、当時を覚えている方が少なくなっているだけに、今の若い世代に語りつがなくてはならないことだと痛感します。生きたくて生きられなかつた人々の分も、一日一日大事に過ごさなくては……と思いました。
(女性・69歳)

■被曝したその時、もし私とお母さんが一緒にいたら、きつとお母さんは火傷して腐臭をはなつ私でも抱きしめてくれるんだろうな、と、母の愛を深く今感じています。
(無記入)

戦後70年豊島区平和事業／財団設立30周年記念事業

2015年 8月15日[土] 13:00開演 (12:30開場)

豊島公会堂

主催＝公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
企画制作＝地人会新社

■チケット発売日＝友の会6月12日[金]／一般6月19日[金]

■チケット料金[消費税込・全席指定] ※未就学児入場不可

友の会＝2,500円／一般＝3,000円(1階席・2階席同一料金)

高校生以下＝1,500円(としまみらいチケットセンターのみの取り扱い・要証明)

■申し込み・お問い合わせ

●としまみらいチケットセンター

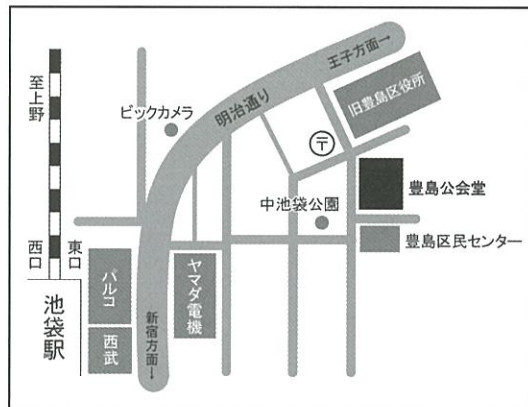
TEL.03-3590-5321 (8:30～21:30 ※偶数月第3月曜日は17:00まで)

※ホームページからお申し込みできます。 <http://www.toshima-mirai.jp/>

●チケットぴあ＝TEL.0570-02-9999 (Pコード 444-771)



さよなら豊島公会堂



〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目19-1



TOSHIMA
International City
of Arts & Culture
国際アート・カルチャー都市としま